

論壇

先進国型と途上国型

オリンピック・パラリンピック（以下ではオリパラと略す）の後の景気はどうだろうか？ いろいろなところで話題となる。オリパラは日本にとって重要なイベントで経済効果が大きい。それ故に、「祭りの後」が心配だといわれる。

過去のオリンピックを振り返っても、その次の年の景気が落ち込むことは少なくない。1964年の東京でのオリパラ後、日本の景気は悪化した。オリパラまでは新幹線や高速道路などの整備で公共事業がフル回転していたが、オ

伊藤 元重

学習院大教授(国際経済学)

リパラ後はその反動もあって景気が大きく落ち込んだ。ソウルや北京のオリパラの後でも似たような状況になった。発展途上にある国がオリパラを契機にインフラ整備に邁進し、国威発揚のために財政資金を思い切り投じると、オリパラ後にその反動が来るのだ。

パラ以前は米国南部の地方都市というイメージが強かったが、オリパラを契機に米国を代表する国際都市に変身していった。例えば、アトランタ空港は発着便数で、シカゴ空港と1位を争う存在となった。ロンドンも元々グローバルセンターとして存在の大きな街だったが、オリパラの後、さらにグロ

オリンピック後の景気

しかし、オリパラ後の景気が悪くなるケースばかりではない。2012年のロンドンや1996年のアトランタの大会の翌年は、景気はむしろ良くなっているのだ。ロンドンやアトランタの大会は先進国型のオリパラで、途上国型とは違うようだ。アトランタはオリ

今回の東京のオリパラも先進国型の大会である。新幹線や高速道路を新たに建設したわけではなく、オリパラに向けた工事需要が多かったというが、人手不足や資材不足もあり、多くの建設工事が後にずれ込んでいくようだ。オリパラ後に本格的に稼働する開発事業も多いと聞く。オリパラ終了で工事が縮小するのではなく、オリパラ後も建設需要はしばらく旺盛であるようだ。

日本が変わる契機に

昨年行われたラグビーのワールドカップの経験からも分かるように、スポーツの大きなイベントは日本の海外発信に非常に有効である。オリパラでもそうした効果を最大限に発揮する必要がある。2

025年には大阪で万博が予定されている。万博はスポーツイベントではないが、海外への発信という意味では同じような効果が期待できる。

重要なことは、オリパラなどを契機に日本が変わることである。例えば、パラリンピックは街のリアフリー化を進めていく絶好のチャンスである。インフラなどのハードの面だけではない。人々の考え方もリアフリー化を進めていくことがより重要なことである。オリパラは日本の良さを海外に発信していくよい機会である。オリパラをきっかけに何ができるのかを前向きに考えることが重要だ。それができれば、オリパラ後の景気後退など恐れる必要もないだろう。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。